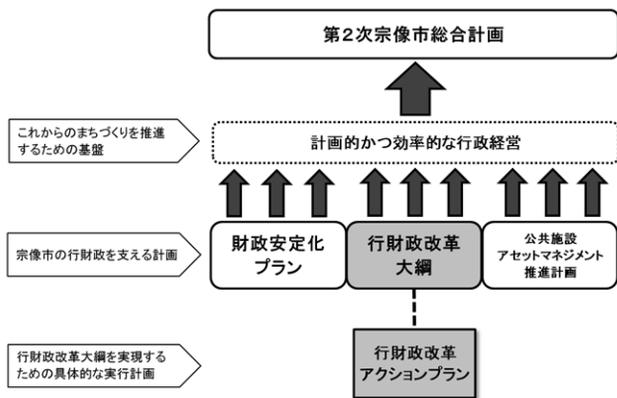


I 宗像市の行財政改革について

(1) 行財政改革大綱と

行財政改革アクションプランの位置づけ



(2) 宗像市第4次行財政改革大綱

「持続可能な行政経営の基盤づくりと

将来に向けた政策実現のための改革」

を基本理念とし、基本方針を3方針定め行財政改革に取り組みます。

また、従来の取組みに加え、ICT化や官民連携といった新たな改革にも取り組みます。

(3) 行財政改革アクションプラン

大綱に基づき、行財政改革の推進体制、効果目標、取組み内容について、実行計画を定めたものです。

取組みの分類を14に分け、総数30のアクションプランに取り組みます。

【取組み分類とプラン数】

基本方針	取組み分類	プラン数
生産性を高め活力ある組織へ	働き方改革の推進	9
	戦略的な人員配置と機構改革	
	行政事務のICT化	
	管理業務の適正化とスリム化	
行政サービスの効率化と質的向上	事務事業の適正化	11
	経費の適正化	
	行政サービスのICT化	
	民間活力の積極的な活用	
	窓口業務改革 事業の広域化の推進	
継続的な健全財政の堅持	税外収入の確保	10
	税収入の確保	
	受益者負担の適正化	
	公共施設アセットマネジメント推進計画に基づく公有財産の適正化、管理費用の平準化	

【効果目標額】

1,610,000千円（5年間総額）

II 令和2、3年度の実施状況

○効果額 284,701千円（達成度：98.8%）

R2, R3合計効果目標額：288,200千円）

III 令和4年度の実施状況

(1) 評価と効果額

基本方針	評価	R4年度効果額	合計
生産性を高め活力ある組織へ (全9プラン)	A:6プラン B:2プラン C:1プラン D:0プラン	73,441千円	効果額:187,547千円 (達成度:53.7%) R4年度効果目標額: 349,200千円
行政サービスの効率化と質的向上 (全11プラン)	A:5プラン B:2プラン C:2プラン D:2プラン	63,251千円	
継続的な健全財政の堅持 (全10プラン)	A:5プラン B:1プラン C:2プラン D:2プラン	50,885千円	

(2) 累計効果額（令和2年度～令和4年度）

○効果額 486,127千円（達成度：76.3%）

R2～R4合計効果目標額：637,400千円

最終効果目標額に対して…

達成度：30.2%

Ⅲ 令和4年度の実施状況（続き）

(2) 個別プランの実施状況（新たな取り組みであるICT化、税外収入に関するプランを中心に抜粋）

1 生産性を高め活力ある組織へ

ICTを活用した事務の効率化		デジタル化推進室	
R4 実施 内容	・LoGoチャット運用 ・AI-OCRを運用し、入力等事務削減 ・AIチャットボットの導入・実証 など		
R4年度	目標	20,100千円	評価 A
	実績	21,021千円	
	達成度	104.6%	
その他	R5年度は外部ストレージサービスの導入等を行う		

ネットワーク環境の整備による 執務環境の最適化		デジタル化推進室	
R4 実施 内容	・内部事務システムの統合 ・プリンタ統合等によるペーパーレス化 など		
R4年度	目標	1,000千円	評価 A
	実績	1,556千円	
	達成度	155.6%	
その他	・システム統合による時間の削減 ・電子決裁の推進		

2 行政サービスの効率化と質的向上

電子申請の促進		デジタル化推進室	
R4 実施 内容	・電子申請システム(LoGoフォーム)の導入による331の手続き、申し込みのオンライン化		
R4年度	目標	300千円	評価 A
	実績	3,776千円	
	達成度	1,258%	
その他	R5年度は書かない窓口の検討を実施		

企業や大学との連携による住民サービスの向上		経営企画課	
R4 実施 内容	・大学との連携 ・漂着ごみ等調査の継続実施 など		
R4年度	目標	1件	評価 A
	実績	3件	
	達成度	300.0%	
その他	R5年度は大学生の力によるまちの課題解決プロジェクトは、特定加算等を実施		

3 継続的な健全財政の堅持

クラウドファンディングによる財源の確保		経営企画課	
R4 実施 内容	・企業版ふるさと納税の、プッシュ型の寄附金募集の実施		
R4年度	目標	4,000千円	評価 A
	実績	26,446千円	
	達成度	661.1%	
その他	R5年度はプッシュ型の募集の継続とともに、市に関連する企業への直接寄附募集の実施		

公共施設管理の適正化		行革AM推進室	
R4 実施 内容	・公共施設包括管理委託に向けた公募、詳細協議、各種調整		
R4年度	目標	8,000千円	評価 C
	実績	0千円	
	達成度	0.0%	
その他	R5年度は包括管理委託事業開始後の進捗管理を適宜実施		

～評価の低いプランについて～

- 新型コロナウイルス感染症によって大きく影響を受けたプラン
 - ・補助金・負担金の適正化、受益者負担の適正化、公共施設の使用料の適正化
 ⇒理由：新型コロナウイルスによる市民生活等への影響から、当初予定していた見直しを見送ったため。
- その他
 - ・公共交通の適正化
 ⇒理由：R6年度スタートする新たな交通体系の構築に向け、R4年度から公共交通全体の見直しを実施中。